

一関工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	ディジタル回路 I	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	未来創造工学科 (電気・電子系)			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	絵ときディジタル回路の教室 堀佳太郎オーム社						
担当教員	小野 孝文						
到達目標							
教育目標D							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ディジタル情報系と回路が理解活用出来る。		ディジタル情報系と回路が理解出来る		ディジタル情報系と回路が理解出来ない	
評価項目2		ブール代数MILを理解活用できる。		ブール代数MILを理解できる。		ブール代数MILを理解出来ない。	
評価項目3		論理の一致カルノー図を理解活用できる。		論理の一致カルノー図を理解できる。		論理の一致カルノー図を理解出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	ディジタル回路を理解し、それらの基礎となる論理代数、論理素子について学習する。						
授業の進め方・方法	授業は教科書を中心に講義をすすめる。十分に予習復習を行うこと。						
注意点	試験結果(100 %)、詳細は第 1 回目の授業で告知する。コンピュータの基礎をなす 2 進数や論理代数、論理素子についての理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ディジタル情報系と回路		ディジタル情報系と回路が理解できる		
		2週	"		"		
		3週	"		"		
		4週	ブール代数		ブール代数を理解出来る		
		5週	"		"		
		6週	ディジタル回路		ディジタル回路を理解出来る		
		7週	"		"		
		8週	中間試験		"		
	4thQ	9週	MIL記法		MIL記法を理解できる。		
		10週	"		"		
		11週	"		"		
		12週	論理の一致		論理の一致を理解できる。		
		13週	"		"		
		14週	カルノー図		カルノー図を理解できる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験の解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0